



中太小コミュニティスクールだより

子育て三輪車

学びの主役は子供 教育の主役は保護者 しっかり支える学校・地域

中太間山小学校学校運営協議会

第4号 2025年7月発行

望ましい子育て協働体をめざして

ボランティア活躍中

6月下旬までに、苗の植え付けや校区探検の付き添いなど計10回の応援要請があり、のべ36人のボランティアの方々にご協力いただきました。

ボランティアの方々も、子供のいきいきした様子に触れて良い時間を過ごしていただけたようです。

大人目や手があると、細かなことについても支援が行き届きます。さらに、活動や学習を充実させる指導の工夫にもつながるかもしれません。

これからも多くの学年で、ボランティアの要請があると思いますので、ご登録、ご協力いただけると助かります。



- かわいい1年生と一緒に楽しく活動できました。(Tさん)
- 蒸し暑い中、みんな頑張って歩いていました。水筒の肩掛けヒモがない子が傘と水筒を抱えて歩くのが大変そうでした。(Aさん)
- 安全に気を付けて歩いていました。「めあて」も意識しながら行動していました。頭痛対策で保冷剤があれば良かったかも。(Yさん)
- 道路にゴミがあったので、ゴミ袋を持たせてあると良かったかもしれません。(Sさん)

第2回学校運営協議会開催

6月13日(金)に第2回学校運営協議会を開催しました。

今回は、運営協議会で4月に承認した学校運営計画(基本方針)について、進捗状況と現在の学校や児童の状況について説明を受け、質疑を行うという内容でした。今年度の重点目標『みがけ、心』の具現に向け、6年生により制作された清掃ビデオも視聴しました。全校児童が、清掃について基礎基本を知り、自主的に学校や学級を美しく整える活動を推進している様子が見て取れました。

各学年の子供たちの様子については、右枠のような説明がありました。

Q-Uも活用して学級づくり・授業づくり

中太小では、今年も『Q-U』(楽しい学校生活を送るためのアンケート Questionnaire-Utilities ※「へえ、そうなんだ!」にQRコード有)が実施され、得られた情報を学級経営や教育相談等に活用しているそうです。

Q-Uからは、一人一人の状況や集団内の位置づけ、あるいは学級としてのまとまりや雰囲気などが客観的データとして示されます。そうした一人一人に目を向ける学校の取組を受け、協議会では、子供の学習力や行動力を学校や地域としていかに高めていくか、ということについて意見が交わされました。

学習は、基本的には言葉を介して行われるので文字の読み書きや語彙の習得は必須ではあるのですが、子どもの発育、発達の方法が異なるので、言葉についても個人差があります。

- 1年** 入学から2ヶ月半が経過し、全体的に落ち着きをもって学習に取り組んでいる。
- 2年** 落ち着いて学習できている。低学年合同で魚津水族館へ行った際はリーダーを務めた。
- 3年** 総合的な学習の時間に「ジャコウアゲハ」についてボランティアから楽しく学んだ。
- 4年** 元気あふれる子が多い。めざす学級の姿を掲げ、授業中のルール確立に取り組んでいる。
- 5年** 高学年としての自覚が生まれつつある。委員会活動にも意欲を見せている。
- 6年** 学校のリーダーとして頑張っている。運動会以降も学校のためにと意欲的に活動している。

例えば、就学以前の幼稚園や保育園(所)では、様々な活動を通して聞いたり、話したり、読んだりしながら、自分の思いを表現したり、人と交わったりする楽しさを味わわせることが重視されています。

書く活動は、小学校の学習指導要領にも位置づけられてはいるのですが、個々の児童の発達状況や経験差が大きいので、すぐに同じことができるようにはなりません。重要なのは、一律の成果を求めることなく、一人一人の発達状況や能力に寄り添った指導を行うことです。

中太小では、種々のカウンセラーや指導員も交えて、一人一人の子供を多面的に理解し、その子に応じた指導を工夫して、より良い成長を促す学校運営に努めているように思われます。

近年、早期教育が話題になっていますが、成長の仕方は人それぞれ。機が熟せば飛躍的に伸びる時期が訪れます。子育てで大切なのは、生きる基盤となる健康や生活を整え、必要な学びの種をまき、しっかり観察しながら、適切適量な学習刺激を与え続けることです。

ちょっと視点を変え、SDG'sの理念に照らしても、さまざまな人や文化とより良く接することは子どもの成長に欠かせません。それは、人それぞれの違いを理解し受け入れるということが基本なのではないでしょうか。

中太小では、Q-Uなども生かしながら児童理解をいっそう進め、すべての子供たちが明るく楽しく学べるよう、これからさまざまな工夫を重ねていくそうです。保護者や地域の皆様もぜひ協力をお願いいたします。

Q-Uで把握できること

1 個人についての情報

- ・ 一人一人の児童生徒の、学級生活の満足感や学校生活への意欲

2 学級集団についての情報

- ・ 学級集団としての成熟の状態や集団の雰囲気

3 学級集団における児童生徒の相対的位置

- ・ 学級生活の満足感、学校生活の意欲に関する児童生徒の相対的位置



Q-Uからわかること

- ・ 不登校になる可能性の高い児童生徒はいないか

- ・ いじめ被害を受けている可能性の高い児童生徒はいないか

- ・ 意欲が低下している児童生徒はいないか

- ・ 学級崩壊に至る可能性はないか

- ・ 学級集団の雰囲気はどのような状態であるか

へえ、そうなんだ!

保護者の皆様は、子供が元気よく家を出て、しっかり学習し、元気に帰ってきてくれるよう願っておられると思います。

今回は子どもの元気を支える保護者の役割について考える際の参考になると思われる情報を紹介します。 ※紹介している情報以外にもさまざまな見方や考え方がありますので、その点をご理解ください。

○ 子供の大半が睡眠不足 学習、健康に悪影響 大規模調査で浮き彫りに
(2025年5月17日産経新聞「子ども健診睡眠プロジェクト」に関する記事より)



○ 「子どもの心の病」の原因の多くは親? 見逃しNGなサインとGW明けに注意すべきこと。 学校を休ませる基準は「いじめと体罰」のみの訳
(2025年5月10日東洋経済エデュケーションより)



○ 『WEB Q-U』 について
(早稲田大学 河村茂雄教授 開発)



皆様からのご意見もお待ちしております。

◎連絡先 cd13@imizu.ed.jp (中太小コミュニティスクール)

